石野地区まちづくり計画【概要版】

住み続けたい　住んでみたくなる
魅力あるまち・石野

平成27年3月
石野地域会議

石野地区まちづくりの基本理念

石野地域会議では、地域の課題を話しあい、まちづくりの基本理念を設定しました。

石野地区は美しい自然と歴史に恵まれ、住民同士のふれあいが豊かな地域です。しかし、現在は人口減少・高齢化が進んでおり、地域社会の持続にとって大きな課題になりつつあります。

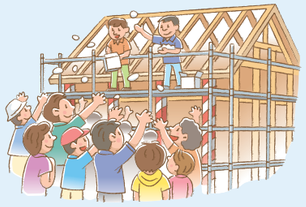
石野地区の良さを守り磨きながら、災害、犯罪、健康、交通手段、子育てなど、生活環境面の心配がなく、石野地区で生まれ育った人がこれからもずっと住み続けたくなる、訪れた人が住んでみたいと思う、魅力あるまちを目指していくことが必要と考えました。

住み続けたい　住んでみたくなる
魅力あるまち・石野

石野地区まちづくりの基本方針

基本理念を実現するため、3つのまちづくり方針をまとめました。

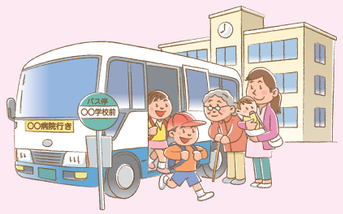
まちづくり方針 1　い　つまでも活力のあるまち



私たちのふるさと石野地区の良さを残していくため、子どもたちの石野地区への愛着を育くむとともに、地域の住まいの情報を発信するなど定住や転入を促進します。多世代、同世代の地域住民のふれあいを充実させるとともに、時代に対応した地域の仕組みづくりに取り組み、老若男女が暮らしやすい持続可能な地域づくりを進めます。

歴史や自然、文化や既存の施設、農業などの豊かな地域資源を存分に活用し石野地区外にも魅力を発信して、元気な石野づくりに取り組みます。

まちづくり方針 2　し　ょうらいも安心のまち



日頃から災害や犯罪への意識を高め、地域が連携し、緊急時にも安心して生活できる地域づくりを進めます。

また、病院、学校、店舗等が遠い人でも不便なく生活できるよう、住民がお互いに協力しながら、移動手段や生活利便性の確保に努めます。

近くに見守りあえる、支えあえる人がいる暮らしは大きな安心を得ることができます。子どもから高齢者までが暮らしている地域、三世代がふれあえる地域をめざします。

まちづくり方針 3　の　びのびと人が輝くまち

経験豊富で知識や技術をもった人々をはじめ、新たな人材の発掘や能力向上の機会をつくり、住民誰もが活躍する場をもつほか、既存の団体やイベントを連携させ、人が輝くまちづくりに取り組みます。

また、地域で子育ちを見守り、子育てを支援し、子どもの声が響き渡る石野地区をめざします。

住民が心や体の健康に関心をもち、地域ぐるみで健康の維持に取り組みます。障がいの有無や年齢に関わらず、誰もが暮らしやすいまちをめざします。

石野地区まちづくりの取組

まちづくり方針 1　い　つまでも活力のあるまち

(1) 持続可能な地域づくり

①定住・転入促進

石野地区で生まれ育った子ども達や、転入を考えている人たちの居住場所として石野地区が選ばれるように、地域の魅力や暮らしの情報等を発信するとともに、定住・転入を進めるためのサポート体制を整備するなど、各集落が人口維持・増加対策に取り組んでいきます。

取組名
- ◆石野地区の魅力を伝える講座やイベントの開催
- ◆「石野暮らしガイドブック（仮）」の作成
- ◆転入に関するサポート
- ◆空き家・空き地の発掘調査
- ◆転入に関する自治区の情報交換会の開催

②住民のつながりづくり

夏祭りやふれあい祭りなどのイベントについて、開催情報を発信したり、魅力的な企画内容とします。さらに、同世代、異世代で自主的に集まる機会が気軽に開催できるようなきっかけをつくり、より多くの住民同士が“顔が見える関係”をつくります。

取組名
- ◆石野地区のイベント情報発信
- ◆地域住民の交流の機会づくり

③持続可能な地域の仕組みづくり

若い人や転入者を交えながら、組織のあり方、仕組みを検討し、自治活動を維持し、魅力ある活動や必要な活動を展開するとともに、みんなが役割を担える自治活動にします。

取組名
- ◆自治区間の情報交換

(2) 元気な石野づくり

①歴史・文化の継承

石野地区の歴史や文化、自然などについて資料としてとりまとめたり、石野地区の魅力について学べる機会をつくり、子どもや孫など後世に引き継いでいきます。

取組名
- ◆石野地区の歴史・文化・自然のとりまとめ
- ◆石野地区の魅力を伝える講座やイベントの開催（再掲）
- ◆祭りの活性化

②農を活かしたまちづくり

石野地区で採れた農産物が多くの人に届くように、農産物直売所や地域イベント等を活用します。また、耕作放棄地を石野地区内外の人と一緒に管理し、“農”を石野地区の魅力にします。

取組名
- ◆農産物直売所の整備活用
- ◆地域イベント等での農産物直売の実施
- ◆農産物の販売促進・売上向上のための勉強会の開催
- ◆耕作放棄地の管理運営

③石野地区の魅力発信

石野地区の魅力を、ホームページや情報掲示板など様々な媒体で発信するとともに、石野地区の魅力をめぐることができるような地図をつくり、地区内で共有して、みんなで地区外の人にも伝えていきます。

取組名
- ◆野地区の魅力発信
- ◆「石野めぐりマップ」の作成

④既存施設の有効活用

みんなの住民活動をもりあげるため、既存施設を活用し、自分たちで管理運営します。

取組名
- ◆既存施設の有効活用
- ◆旧西中金駅舎の管理運営

まちづくり方針 2　しょうらいも安心のまち

(1) 安心・安全の地域づくり

①災害への備えの充実

みんなの住民活動をもりあげるため、既存施設を活用し、自分たちで管理運営します。

取組名
- ◆様々な機会を活用した魅力的な防災訓練の実施
- ◆地域の防災力の向上
- ◆災害時の情報共有システムの整備
- ◆地域の防災リーダーの育成

②安心・安全な環境づくり

危険箇所を除去し、子どもや女性など誰もが安心して歩ける環境をつくります。

取組名
- ◆地域ぐるみでの危険箇所の除去
- ◆あいさつ運動

(2) 暮らしやすい地域づくり

①利用しやすい移動手段の確保

みんながバスを利用する仕組みをつくったり、バスの利便性を高めるとともに、バス以外の移動方法を検討するなど、地域全体でみんなの移動手段を確保します。

取組名
- ◆地域バスの利用促進
- ◆地域バスを維持するための仕組みの検討
- ◆地域バスの利便性の向上
- ◆地域住民の助け合いによる移動手段の確保

②生活利便性の確保

地域内にある生活利便施設やITをみんなが利用する環境をつくり、地域内で暮らしやすくします。

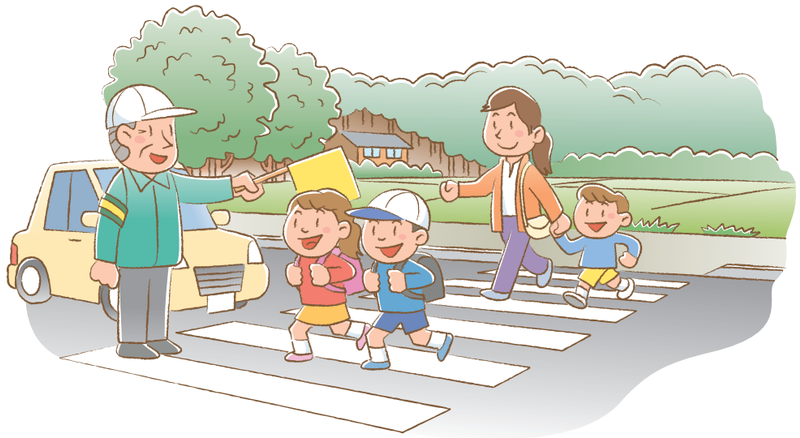
取組名
- ◆地域の生活利便施設の利用促進
- ◆IT利用促進講座の開催

(3) つながりを活かした地域づくり

①三世代暮らしの推進

三世代など多世代で暮らすことの魅力を感じる環境をつくり、近所で世代の違いを活かして互いに生活を支え合える関係をつくります。

取組名
- ◆三世代暮らしの魅力発信
- ◆地域の交流の機会づくり（再掲）
- ◆多世代暮らしを活かした仕組みづくり
- ◆多様な住まい方ができる家づくり



まちづくり方針 3　のびのびと人が輝くまち

(1) 人が活躍する地域づくり

①人づくり

地域や一人ひとりが抱える困りごとの解決に向けた講座を開催するなど、地域のために自分の長所を活かして活動する人を増やします。

取組名
- ◆地域の課題に対応した講座の開催
- ◆キルアップ講座の開催

②生涯現役のまちづくり

年齢や性別にかかわらず、一人ひとりが魅力や能力を発揮・発信できる仕組みをつくり、誰もが自分の役割を感じ、互いに認め合える地域にします。

取組名
- ◆地域住民の特技の活用
- ◆がんばる石野人の情報発信

③イベント・団体の活性化

石野地区内の活動団体やイベントの情報が地域全体に行き届く環境をつくり、活動団体やイベントを地域全体で育て、連携しながら活性化します。

取組名
- ◆イベント・団体活動の広報・PR
- ◆団体と団体・団体と人の交流

(2) 子どもがいる地域づくり

①子育ちの環境づくり

石野地区の子どもは地域全体の子どもとして、みんなで見守り、学びや育ちをサポートし、地域に愛着を持つ子どもを育てます。

取組名
- ◆あいさつ運動（再掲）
- ◆学校のサポート
- ◆学童保育のサポート
- ◆地域の遊び場づくり

②子育て支援の充実

子育て世帯同士がつながりやすい環境や子育て世帯を支えられる仕組みをつくり、石野地区ならではの子育て世帯が暮らしやすい地域をつくります。

取組名
- ◆妊婦や乳幼児の親子が交流できる機会づくり
- ◆親子で参加できる学びの場づくり
- ◆地域の交流の機会づくり（再掲）
- ◆学童保育のサポート（再掲）

(3) いきいきと暮らせるまちづくり

①子育ちの環境づくり

ウォーキングコースや身近な広場などを気軽に運動したり、バランスのとれた健康的な生活を送ることができる環境を整え、生涯現役、心も体も元気を維持できる地域にします。

取組名
- ◆地域ぐるみの健康づくり推進
- ◆健康づくりの拠点整備
- ◆栄養バランスのとれた食の普及推進

②障がい者が暮らしやすいまち

心身の状況に関わらず、障がいのある人なども一緒に地域の行事や活動を行い、安心していきいきと生活できるまちにします。

取組名
- ◆障がい者等も参加しやすい場づくり
- ◆認知症の地域の見守り強化

石野地区の重点プロジェクト

重点プロジェクト 1　石野地区の魅力づくり

◆重点プロジェクトの概要

1　旧西中金駅の整備活用と管理運営

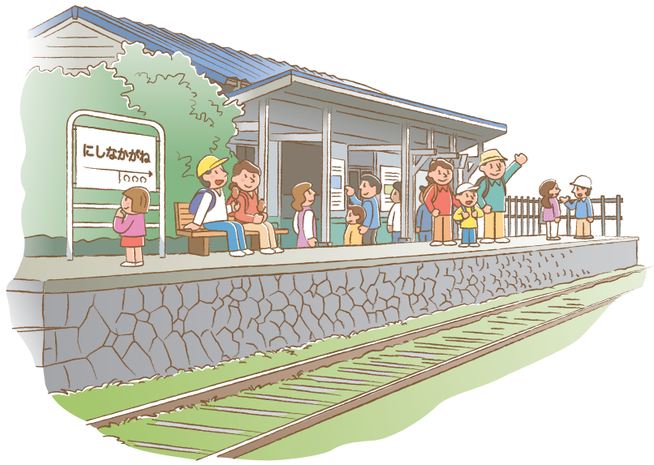
- 駅舎を活用して、住民も来訪者も参加できる様々なイベントを開催する
- 住民が休憩したり、友達とお茶したり、趣味を披露したりできる拠点をつくる
- サイクリングやランニングなどの着替え、休憩ができる拠点をつくる
- 駅舎を活用しながら必要な整備を行う（駅舎改修等）
- 住民主体で駅舎を管理・運営する

2　既存施設の活用整備とネットワーク化

- 石野交流館等の既存施設も含めたウォーキングやサイクリングなどのコースを検討する
- 石野めぐりマップを作成する
- 既存施設について必要な整備を行う
- 各施設をつなぐイベントを開催する

◆活動の計画

	住　　民	行　　政
H27	●西中金駅舎の管理・運営 ●駅舎を活用した取組の推進	●西中金駅周辺の遊歩道化　●駅舎改修 ●駅名看板設置　●防犯カメラ ●休憩施設（ベンチ等）の整備 ●石野地区観光案内パネルの設置 ●駅舎等の管理・運営支援 ●駅舎を活用した取組の支援
H28	●駅舎等の管理・運営 ●駅舎を活用した取組の推進 ●石野地区内の拠点とのネットワークづくり ●石野めぐりマップの作成	●駅舎等の管理・運営支援 ●駅舎を活用した取組の支援 ●石野地区内の拠点とのネットワークづくり支援 ●石野めぐりマップの作成支援
H29以降	●駅舎等の管理・運営 ●駅舎を活用した取組の推進 ●石野めぐりマップを活用した取組の推進	●駅舎等の管理・運営支援 ●駅舎を活用した取組の支援 ●石野めぐりマップを活用した取組の支援



重点プロジェクト 2　石野地区の定住促進

◆重点プロジェクトの概要

1　石野地区の暮らし・住まいに関する情報発信

- 転入者や住民などから石野地区の暮らしの様子や暮らしに必要な情報を集める
- 石野地区の暮らしの様子や暮らしに必要な情報を発信する
- 石野地区の住民、特に家主や地主等の定住に対する理解を得ながら、空き家・空き地を発掘する
- 石野地区の住まいの情報を発信する

2　石野地区に転入する人のサポート

- 石野地区に転入したい人の相談にのる窓口をつくる

3　自治区の受け入れ体制づくり

- 定住促進に取り組んでいる自治区同士の情報交換をする
- 転入者とずっと住んでいた住民、転入者同士が交流できるようなきっかけをつくる
- 既存イベントを見直し、魅力的なイベントにする

◆重点プロジェクトにおける各団体の役割分担

石野を変える会

■広報機能
- ホームページ、SNS、チラシなどを活用して情報発信
- 石野地区暮らしのガイドブックの作成　等

■定住促進機能
- 自治区と連携した定住促進に関する意見交換会の開催
- 転入者や転入者を受け入れる地域のサポート体制づくり　等

情報共有　協議・検討　サポート

自治区

■定住・転入に関する住民の意向把握、意識啓発
■空き地、空き家の発掘
■定住促進に関する意見交換会の開催
■定住に関する新住民と自治区のつながりサポート
■既存イベントの見直し
■自治区のお役、行事見直し　等

連携

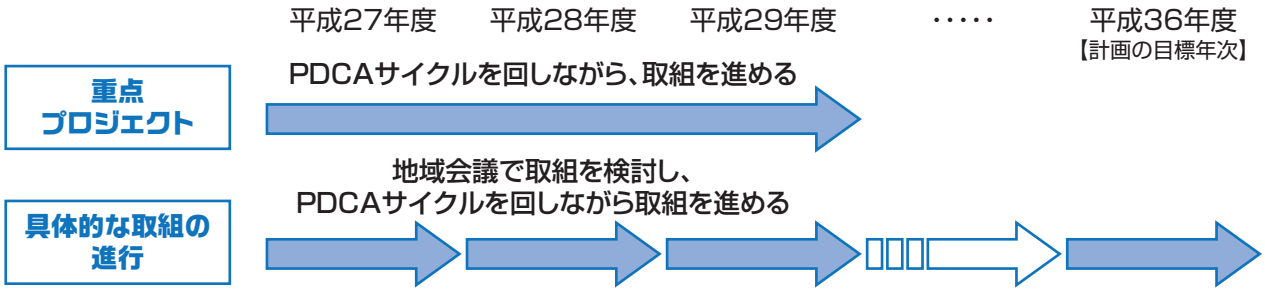
コミュニティ会議

■既存イベントに対するアンケートの実施
■既存イベントの見直し
■多様な住民を巻き込んだイベントの開催　等

石野地区まちづくり計画を実現するために

◆計画の進め方

石野地区まちづくり計画は、私たち住民により2つの「重点プロジェクト」を中心に進めて行きます。また、地域会議において、具体的な取組が「めざしていた成果」と「実際の成果」を比較、検証し、達成できていないものについて、達成する方法をみんなで考え、取り組んでいきます。



※PDCAサイクルとは、計画を立てて実行し、結果を評価後改善して次のステップへと繋げていくという、物事の進め方を表したものです。
計画（Plan）→実行（Do）→点検・評価（Check）→改善・処置（Action）の頭文字から名づけられました。

◆豊田市のまちづくりの方針と活用できる制度

私たちが住む豊田市では、市民と行政が共に働き、共に行動する「共働のまちづくり」を実現するための仕組みとして「地域自治システム」が作られています。石野地区まちづくり計画では、住民が独自に取り組むほか、「地域自治システム」を活用して、行政と住民らが共働して取り組むことができます。

地域自治システムとは、地域をより住みやすくするために設けた以下の仕組みのことです。

①地域に住んでいる住民の声を市政に反映する
②生活する上で起こる様々な不安や課題を、地域住民自らが考え解決する

◇地域自治システムで地域課題を解決するために活用できる2つの方法

地域自治システムでは「生活する上で起こる様々な不安や課題を、地域住民自らが考え解決する」ために、2つの方法が用意されています。

わくわく事業	「地域の人たち」が「地域の課題解決」に取り組む事業に対して、補助金として活動を助成する仕組み ※石野地域会議が補助の適否を審査します。 1事業につき上限100万円／年
地域予算提案事業	地域の意見を市の施策に反映する仕組み ※石野地域会議が提案します。 事業費の上限2,000万円／年

石野地区まちづくり計画【概要版】

発　行　平成２７年3月　石野地域会議
事務局　豊田市社会部猿投支所

連絡先　〒470-0373　豊田市四郷町東畑70-1
TEL (0565) 45-1214　FAX (0565) 45-4824
E-mail sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp